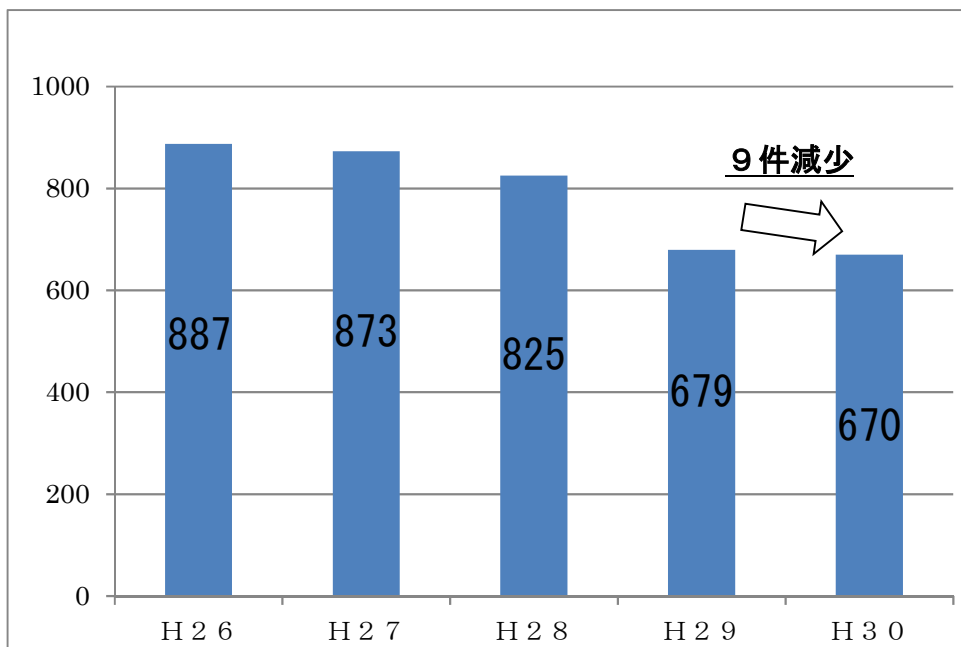


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況（平成30年度）

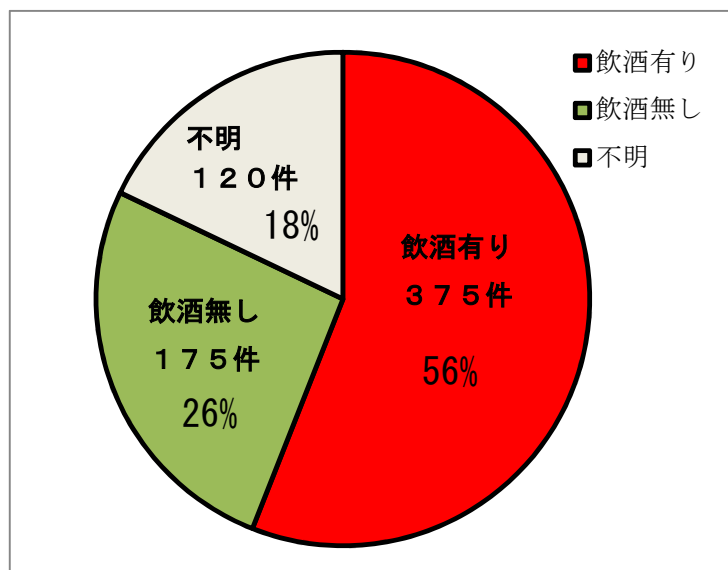
○平成30年度 全国鉄道軌道事業者 計 670件



○加害者の飲酒の有無

少なくとも半数以上の加害者が飲酒有り

※飲酒が判別できないものは不明（18%）に含む

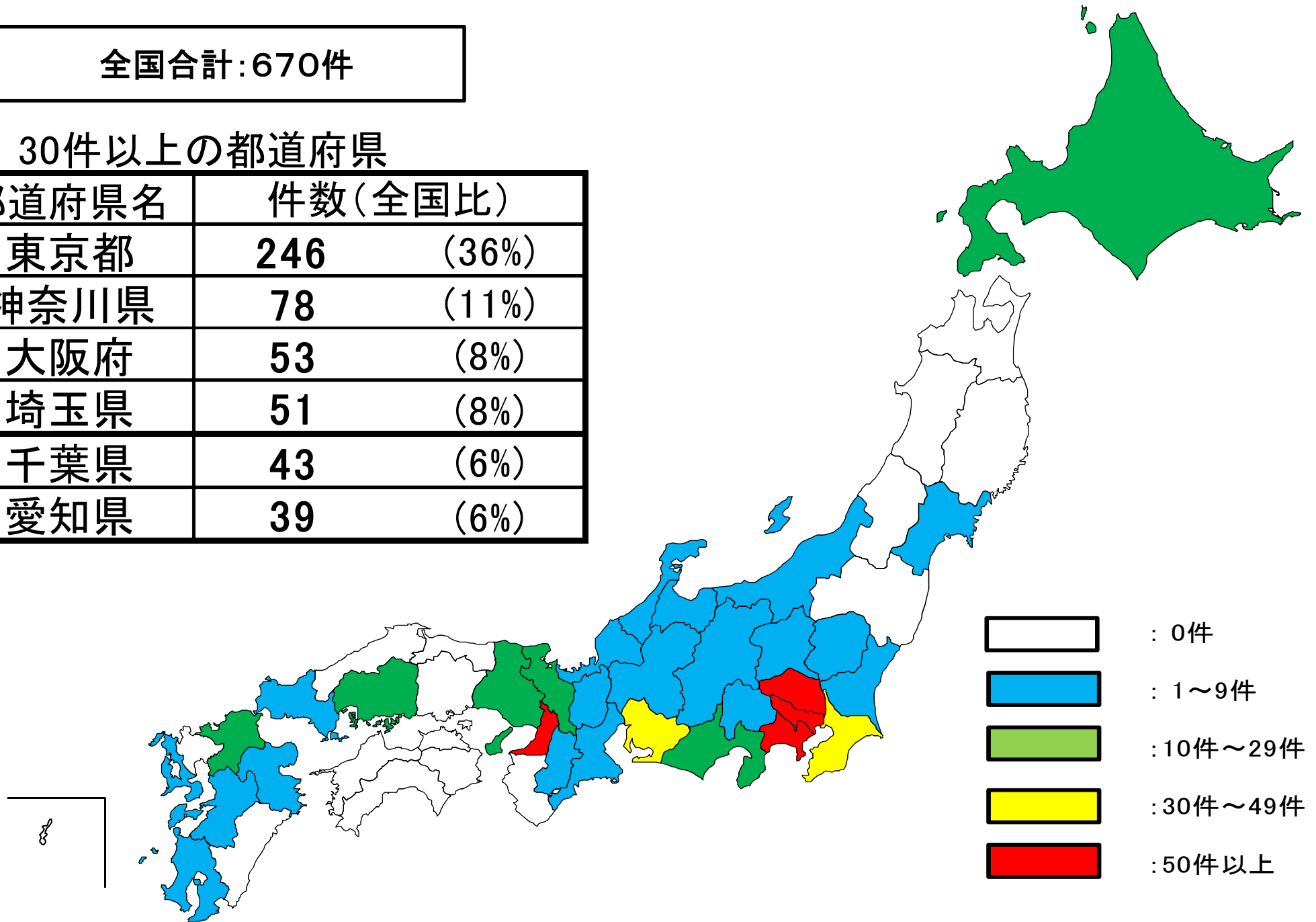


鉄道係員に対する暴力行為の発生状況(都道府県別・平成30年度)

全国合計:670件

○ 30件以上の都道府県

都道府県名	件数(全国比)	
東京都	246	(36%)
神奈川県	78	(11%)
大阪府	53	(8%)
埼玉県	51	(8%)
千葉県	43	(6%)
愛知県	39	(6%)



鉄道係員に対する暴力行為の発生状況
(都道府県別：平成30年度)

都道府県名	件数	
北海道	13	(6)
青森県	0	(0)
岩手県	0	(0)
宮城県	5	(2)
秋田県	0	(0)
山形県	0	(0)
福島県	1	(0)
茨城県	4	(2)
栃木県	4	(3)
群馬県	4	(2)
埼玉県	51	(33)
千葉県	43	(30)
東京都	246	(192)
神奈川県	78	(36)
新潟県	4	(2)
富山県	2	(2)
石川県	1	(0)
福井県	3	(1)
山梨県	3	(2)
長野県	3	(1)
岐阜県	3	(1)
静岡県	21	(10)
愛知県	39	(21)
三重県	1	(1)

都道府県名	件数	
滋賀県	1	(1)
京都府	13	(2)
大阪府	53	(30)
兵庫県	27	(7)
奈良県	4	(0)
和歌山県	0	(0)
鳥取県	0	(0)
島根県	0	(0)
岡山県	0	(0)
広島県	11	(6)
山口県	2	(2)
徳島県	0	(0)
香川県	0	(0)
愛媛県	0	(0)
高知県	0	(0)
福岡県	14	(8)
佐賀県	0	(0)
長崎県	1	(0)
熊本県	3	(1)
大分県	1	(0)
宮崎県	0	(0)
鹿児島県	2	(1)
沖縄県	0	(0)
全国合計	670	(410)

※ 暴力行為の発生件数は、唾かけ行為なども含めて幅広く集計しており、このうち、()内は警察へ届け出た件数である。

※ 全国合計の件数には、列車内で発生し都道府県別の計上ができない9件(うち、被害届出件数5件)を含むため、合計が合わない。